

# 第 10 回生体防御基盤研究セミナー

日時：2019年6月11日（火曜日）17:30 – 18:30

場所：東邦大学医学部1号館8階 東邦会館 第1,2会議室

武藤 彩 (Akira Muto, Ph.D.)

東邦大学医学部研究推進室リサーチ・アドミニストレーター

## “伝わる”研究プレゼンテーションの組み立て方 ～遺伝研メソッドの紹介～



### 講演の要旨

学会発表や研究セミナーは大学院生や研究者にとって重要な活動の一つです。ところが、不思議なことにほとんどの研究者は研究プレゼンテーションのやり方を誰からも教わったことがありません。先輩や先生のやり方を見よう見まねで覚えてきた人がほとんどではないでしょうか？プレゼンスキルが研究者のキャリア形成に重要であるにも関わらず、大学院でシステムティックな教育がなされていないことは憂慮すべき問題です。国立遺伝学研究所(遺伝研)では、このような日本の教育の現状を改善するべくプレゼンテーションのカリキュラム開発に取り組み、遺伝研メソッド (NIG Method)と名付けて世に問うています(平田、ゴルマン、広海、『遺伝研メソッドで学ぶ科学英語プレゼンテーション』)。今回のセミナーでは、遺伝研メソッドに基づき、伝えたいことを効率的に伝えるためのプレゼンテーションの構成方法を紹介します。

世話人：中野 裕康 (生化学) (内線 2355)